



平成27年2月6日

各 位

株式会社 エー・アンド・デイ
代表取締役執行役員社長 古川 陽
(コード番号: 7745 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 伊藤 貞雄
電話番号 048-593-1111

業績予想の修正、 及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年5月9日に公表いたしました平成27年3月期通期業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

また、平成27年3月期第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）における営業外費用（為替差損）の計上について、併せて下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成27年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	41,200	2,000	1,700	1,000	46 80
今回発表予想 (B)	39,800	1,900	1,090	820	38 38
増減額 (B-A)	△1,400	△100	△610	△180	
増減率 (%)	△3.4	△5.0	△35.9	△18.0	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	37,824	1,439	1,023	1,212	56 72

(2) 修正の理由

当第3四半期連結会計期間中に、露ルーブルの価値が日本円・米ドル等の通貨に対して大幅に急落したことから、当社グループのロシア現地法人の売上高が円換算額で大きく目減りする結果となりました。

更にロシア現地法人においては決済通貨を米ドルとしていることから、仕入債務の決済、及び債務の評価替えによって多額の為替差損が発生いたしました。

これらの状況に対し当社グループでは、現地販売価格の引き上げ、債務の圧縮等の施策を講じて参りますが、現状の換算レートを前提とすると、ロシア現地法人の第4四半期連結会計期間の円換算後の売上高は当初予想を下回るものと見込んでおります。

また、当初予想では見込んでいなかった多額の為替差損が当第3四半期連結会計期間に発生したことにより、通期での経常利益・当期純利益が当初予想を下回る見込みとなることから、業績予想の修正を行うものです。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 営業外費用（為替差損）の計上

(1) 為替差損の内容

為替相場の変動の結果、平成27年3月期第2四半期連結累計期間において為替差損125百万円を計上しておりますが、第3四半期連結会計期間ではさらに486百万円の為替差損が発生しましたので、平成27年3月期第3四半期連結累計期間においては611百万円の為替差損を営業外費用に計上いたします。

上記の金額は、主に前述のロシア現地法人における外貨建債務の決済、及び平成27年3月期第3四半期末時点の為替相場により評価替えした結果生じたものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

(2) 業績に与える影響

上記の営業外費用（為替差損）の業績に与える影響につきましては、本日公表の「平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

(注) 上記の営業外費用（為替差損）の計上は、「1. 業績予想の修正」に反映されていますが、通期の為替差損益は、今後の為替相場の動向により変動する可能性があります。

以 上